

<ご参考>

ラジオ体操は、昭和3年に、昭和天皇の即位の大礼を記念して当時の通信省簡易保険局によって初めて制定されました。

現在のラジオ体操第一は昭和26年、ラジオ体操第二は昭和27年に制定されたものです。

また、平成11年には、国連の「国際高齢者年」にちなんで「みんなの体操」が制定されました。みんなの体操は「ユニバーサルデザイン」という考え方のもと、年齢・性別・障がいの有無を問わず、すべての方々が楽しく安心してできる体操として考案されたものです。

かんぼ生命は、日本郵政公社時代に引き続き、日本放送協会及びNPO法人全国ラジオ体操連盟と共同で、ラジオ体操・みんなの体操について様々な行事を実施してまいります。

「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」とは

毎年7月20日から8月31日までの43日間、全国43会場において体操会を開催しているもので、昭和28年に開始しました。この体操会の模様はNHKラジオ第1放送で全国に公開生中継されます。夏休み期間中にラジオ体操をする風景は、日本の夏の風物詩として浸透しており、各会場とも極めて盛況です。

「1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭」とは

ラジオ体操最大のイベントとして、1,000万人にも及ぶ人々に一斉にラジオ体操及びみんなの体操を行ってもらうという趣旨で、昭和37年に開始されたものです。この体操祭の様子はラジオだけでなく、NHK総合テレビで全国に公開生中継されています。

「特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会」とは

毎年4月から10月末（夏期巡回の期間中を除く。）の日曜日や祝日を中心に、全国10会場程度で体操会を開催しているもので、昭和53年に開始しました。この体操会も夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会と同様に、NHKラジオ第1放送で全国に公開生中継されます。